

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1100 号	氏名	Thomford Ama Kyeraa
学位審査委員	主査 田中 隆	副査 田中正一	副査 石原 純
	副査 山田 耕史		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、<i>Thonningia sanguinea</i> Vahl の成分に関するものである。同植物は寄生植物であり、特異な生態を有している。また、古くから、アフリカの多くの地域で、伝統医療に用いられてきた重要な植物である。特に、ガーナでは、痛み、感染症、気管支喘息、関節炎、月経不順、胃腸炎、不妊症の治療などに広く使われている。その一方で、化学成分についてはあまり研究がなされていない。本研究では、そのような同植物に注目し、その生産する生物活性成分の探索を目的として行ったものであり、目的は十分妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>材料植物の各種抽出物を調整し、抗菌活性試験等を行い、有用性を評価している。また、その活性成分の単離と化学構造式の解明を行っているので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>新規スフィンゴ脂質成分を含む 19 種の成分を単離構造決定するとともに、HPLC 分析を駆使して、単離困難な微量成分の同定も行っている。得られた分析結果は、実際に用いられている医薬品の品質管理の指標ともなり、伝統医療の現場で有益な情報をもたらすことが期待できる。また、その結果は、創薬研究において、更なる応用と進展も十分期待できる。</p>			
<p>以上のように本論文は伝統生薬に関する創薬化学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			